

助(□*1) 城州綾小路曆応○和州市住元曆○備前長船元亨

○大永○寛永 興里武州寛文百六十五年本国江州長曾称

文政八年まで 元亨五百〇五年 大永三百〇五年 寛永二百〇二年

慶応三年四月朔(一)日

四月

朔日申 晴雨屢変

当旅逆主人願生寺住僧京地より帰着せしにて面す、同方へ昨の器を返し洋婦児画一枚を酬(むく)う、宮原寿来り面す、佐久□江州へ魚二尾を為持遣す、第九時仏(*3)国歩兵調練

上挽並御城内写真有し、詰所出勤第一時前伊賀守殿、老岐守殿英館御越件(くだん)の

(亜公見)御熟談有し図書と共に随従す第三時迄退席、第四時亜(*3)公使仏御礼典有し、余も関わるに

暇なし、蘭(*3)館へ行き同公使明日兵庫出立並御船拝借等の儀引合有し、同公使も

両度詰所へ来り、□に談有し、夫々達し手配等いたす、□(*3)□□の儀に付御往復

書□□写江府へ差至る宅状も籠□出す

*1:うかんむりに之、定と類似

*2:三文字程かすれあり解読困難

*3:仏はフランス、亜はアメリカ、蘭はオランダ

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。